

# 「働きづらさ」を

抱えた人と

# 仕事をつなぎます

ユニバーサル就労  
ネットワーク栃木

-認定NPO法人とちぎボランティア  
ネットワーク内-

就労をあきらめている方、働きたくても踏み出せない方へ



例えば① ■パワハラを受けて退職 ■  
精神的に落ち込み、再び働きだす一歩を踏み出せず「少しずつ自信を取り戻していききたいな。」

例えば② ■長期の引きこもりで... ■  
自力で就職活動をしたけど不採用が続く。しかし「不採用になったことに安心している」と気づき、働くことへの不安を自覚。まずは「支援を受けながら働く訓練をしたい。」

- ・コミュニケーションが苦手で就職活動に不安
- ・仕事がなかなか決まらない。
- ・就労プランが長くて自信がない。
- ・高齢で働く場所が見つからない。
- ・短時間の仕事を探したい。
- ・障害者手帳はないが何かしらの障害があるかもしれない。
- ・子育て中

社会的・身体的・知的・精神的な理由が複雑にからみあって...  
働きたくても働けない

- ・長時間労働が難しく短時間勤務の制限がある。
- ・心身に不調があり、職場の理解や配慮が必要。
- ・応募しても採用される自信がない。
- ・就職活動のやりかたがわからない。
- ・就労に必要なトレーニングや就職活動を行う余裕がない。
- ・就職に必要な情報を得られていない

「中間的就労」の手法で、だんだんに職場と仕事に慣れていきます！

●電話 028-622-0021

●〒 320-0027 栃木県宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル3F

## ユニバーサル就労ネットワーク栃木

(認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク内：菊地・小澤)

○ 10:00-17:00 ○定休：土日祝

○メール [info@tochigivnet.jp](mailto:info@tochigivnet.jp)

ユニバーサル就労 栃木 検索

相談は  
何回でも  
無料



詳しくはホームページ

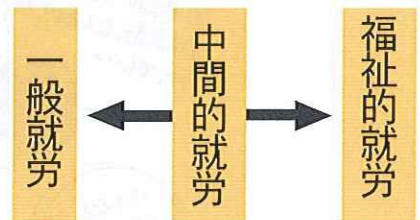
# 1 「働きづらさをかかえた人」を、職場に迎え入れる仕組みです。

ユニバーサル就労は、理由を問わず、働きづらい状態にある人を職場に迎え入れる取り組みです。栃木県内ではまだあまり取り組まれていません。先進地である千葉県では2014年から「ユニバーサル就労ネットワークちば」が活動を開始し、これまでに100人が就労しています。この取り組みを栃木県内でも開始したいと思い、2021年10月にユニバーサル就労ネットワーク栃木を設立しました。



## 2 ユニバーサル就労は、いきなり雇用契約を結んで働くことが難しい人のために、「雇用未済」の働き方をつくります。

これまで、雇用未済の働き方は障害者の福祉的就労に限定されていましたが、2015年4月に施行された生活困窮者自立支援法で、雇用未済の「中間的就労」が制度化されました。多様な理由で働けないでいる人たちが増えている現状に対応した画期的な制度ですが、中間的就労には雇用側、求人側の広範なネットワークと伴走支援するスタッフが必要です。私たちは、ユニバーサル就労（中間的就労）を広げ、だれもが「働くことを通して自己実現できる社会」をめざします。



## 3 「中間的就労」は働きやすい社会をつくる仕組みです。

心身の不調や長期のブランクなどの働きづらさを抱え、すぐに一般就労することが難しい人のなかには、「時間の調整をもらえる」「不安定な体調を理解してくれる」など、一定の配慮と支援があれば働き始めることができる人が大勢います。短時間でも働ける場があることで、社会とのつながりを保つことができ、自己実現の場にもなります。そうして、徐々に不安を減らし自信を回復することで、一般就労につながっていくことを目標としています。



## 4 ユニバーサル就労の手順

- 就労（受け入れ）支援
- ① 個別相談、電話等による相談受付
- ② アセスメント
- ③ 業務分解・マッチング

事業者のみなさんにとっても、早い時期に業務のマッチングを行うことで人材確保の一環として活用いただけるほか、誰もが働きやすい職場環境づくりや業務効率化のきっかけにもしていただけます。多くの事業者が中間的就労を導入し働ける人が増えることは、すなわち地域・社会全体の支え手が増えることです。

## 5 働き方は、4つのステップ。

①無償の通勤者 → ②有償の通勤者 → ③最賃補償職員 → ④一般賃金職員  
 無償または有償のボランティア的なかたちで働きはじめ、伴走型の個別支援をおこなうことでスキルアップを図り、雇用をめざします。多くの人が、この仕組みで雇用にステップアップし、さらに一般就労を達成しています。

